

吟道月報

NO.42
51.1.5

碩心会

年頭の挨拶

師範 根岸 晃岳

あけまして おめでとうございませう

会員の皆杯が御家族共々良い新春を迎えられましたことと、お慶び申し上げます

わが碩心会が年々大きく成長いたしましたして、会員数三百数十名の会に発展いたしましたことは同慶のいたりでありまして、これも皆さんが会のモットーであります。人の和々に御協力して戴きました成果であり、深く感謝いたしております。新春恒例の箱根駅伝に優勝いたしました大東大の監督も優勝させたその指導方針として、一ヶ月五百キロ、七百日の走り込みというハードスケジュールとチームの和々に心掛けた

と言っております。

今年は経済的に昨年にもまして苦しい年だろうといわれていますが、

このような時にこそ自分を励まし慰さめてくれる詩吟の中に、禁しみせもとめて力強く歩いて行くことではありませぬか、今年も亦、吟道にご精進下さることを祈念いたします。

以上

会長 三井 雲岳

陽光うららかに、風も又なく誠に平穏な新春の門出でありました。皆杯一家お揃いで健かに五十一年の正月を寿がれたこととお慶び申し上げます。過ぐる五十年は多岐又混沌といった杯な年でしたが、これを吟道精進のおかたで心を碩く又心靜かに共々手を執り合つて乗り切るこゝとが出来たことは誠に喜ばしい限りであります。

皆杯のお力添えで碩心会も一月一日現在、教場数は三十一を数え、会員も三百七十名となりました。その中に

は御夫婦で精進の方三十二組、親子での方八組の方々が含まれています。

逆葉湘南の浜のほとりに、又山あいに、碩心の吟声漲り、溢れる有林です、今年は更に／＼発展の一年であり、和に固く結ばれた内着を更の年でもあると信じます。この一年を健康に心掛け倦まぬ^{なげ}精進に打ちこみ、そこに積み上げられた土台石の上に、更に次の一年を積み上げて余後の人生の金字塔をうち建てられんことを念じてやみません。

以上

県本部関係

初吟会理事争会を一月十一日(日)京浜急行津久井浜ヶ浦シャトーに於て開催、本年度をスタートする。

碩心会本部関係

◎ 初吟会は、御案内の通り一月十八日、京急淀子ビークセンターにて開催、参加者は三四〇名に達する見込み、盛会の記事は次号にて。

◎ 左記により五十二年度理事争会(支部長及び理事)を開催します。(ご参集下さい)

日時 二月十五日(日)十一時(懇合を準備します)会場 ひびき(会館)(淀子飯場)議題 (イ) 本年度行事予定の決定、

- (ロ) 役員及び規約の改正等
- (ハ) 会の組織運営等に対する所見
- (ニ) その他

◎ 右終了後指導者の方にお残りいただき五十二年春本県資格審査会を開きます、資料御準備下さい。◎ 新しい会員名簿は、印刷の比較的閑な一月中に印刷を終り渡すと思えます、新資料新会員等あります、たう、至急総務又は会長までお知らせ下さい。

会員の異動

退会会員

243 銀詠支節 上田新泉
240 福島謙之輔

退会々員 (つづき)	
銀詠支部	沢木たつ子
	秋山なみ子
	米倉 妙子

新会員

山の根支部	栗原 たか	山の根3の15の17(再入会) 電(カ)五五二七番
	松原ミツ子	山の根3の15の13 電(カ)七二四四番
	太田 キヨ	山の根3の11の1 電(カ)三三七八番
大船支部	新倉 留吉	戸塚区桂台団地七号棟七四二
桜山支部	鈴木 しん(栄山) (再入会)	一葉山町一色一四の九 電(カ)四三三七
銀詠支部	朝賀よし系	桜山8の15の20 電(カ)三六〇二

訂正

前号退会々員沼田支部池田東山は誤につき削除す

会員の声

雑感 千葉 劍風

総務を仰せつかつて二年、本当に月日の経つのは早い
ですね。当会も、会員数は少々の退会者を除いて増える
傾向が、より強く、今や実質的には県下や二位の大きな
会に発展している、これは誠に御同慶にたえないところで
す。さて、このところ会の現状など、つらつら考えてみ
るに、その構成する私どもの吟友には、種々いろいろの
至正の持主の方々があられ、また現在の御仕事なども、
凡ゆる方面にわたつてあります。おのこの所屬する社
会領域においては、皆さんそれぞれ、その道のエキスパ
ートであり、またエリートである方も、極めて多いので
あります。また、その持つておられる思想信条、信仰な
ど、各人名稱のものであることも極めて当然のことであ
ります。それらの方々が長年月一途に吟道に励み、和や
かなうちに、その向上を期し、そしてその中に大きい生

甲斐を見出していること、これまた何人も否定し得ない現実なのです。さて、碩心会も、このように大きくなつてくると、その運営方法等において、前向きに考えていかなければならない幾つかの問題点に逢着いたします。勿論これらは、すべて各支部長等を含み理事会などで、一つ一つ発展的に解決されていかねばならないこと当然であります。しかしこれらの提案は会員皆さんの白頭のお考えが反映されなければならぬと考えております。

さて、話と一寸変えて、当会がまだ少数の頃に、当時の高段クラスの方が、杖会あることに、新入の方々に話しておられたことが、今でも鮮かに記憶に残っているが、それは将来ともに、この会員が心していかなければならない重要なポイントであった。それは、この会は絶対に政治色に影響されてはならないという一事であった。会員が雑多に増えれば、会にもいろいろな反映が現れるのは、これまた当然のことであるし、会

員の中には、政治家としてこれから伸びる方もおられるでしょうし、その精神を鍛えようと珍に志し、精進している方が多いと思われる。一方この会を利用し、また心ならずも会員自身が相互にその利益を認め合つて何時しか政治色豊かな方向を転ぶこともあるでしょう。

しかし、こうした風潮は、この碩心会に関する限り排斥したい、もしかりにこうした会になり下るならば、それは寧ろ政争の具になるばかりでなく、純粋に吟を學ぶもの、吟道に生甲斐を感じているものを冒瀆することに、もなりかねない。お互いに政治色は家庭の範囲内又は自己の私感野の中に止め、この碩心会の中は、あくまで和やかで吟道のみを精進する純粋のものでありたいと願っている。

又、話変わるが、このところ高段者に近くなつて、不意に退会したり、長期休んだりしている方が目につきはじめています。各人の都合もさることながら、言うに言われぬ淋しきこと感ある、もし、かりに会の運営その他、先

輩連に物申したいと言ふことからく
るものとすれば、由々しき問題だと
考えています、どうぞ、私の考えを
ぎであれば幸いです、

総務を十分に活用して貰つて、具
体的提言の実施を因つて頂きたいと
念願しております。

以上若干日頃感じている点を述べ
てみました。

(所轄 総務理事)

お詫び訂正 千葉先生の雅号を誤
つて剣風と書きました。千葉剣風
の誤りつき訂正、お詫びします。

上山口支部の発足を祝ふ

石井 庸山

昨年九月堀内支部の村田さんのお
骨折りに依り同支部の秋元梁山先生
を師範として上山口支部が発足した
しました。当時会員も五、六人でし
たが、三ヶ月ほどの間に、十人以上
の人数となり今練習している沼田散
場も一ぱいになり大変にぎやかです。

地元上山口より逗子支部に籍を置く
私もほんとうに力強く感じて居りま
す。会員皆杯の熱心な練習ぶりは大
変なもので、其の上達ぶりはたゞ驚
くばかりで御座います。

今年には会員皆杯の申合せで杉山神
社へ上山口支部発展の爲の奉納吟を
吟詠する事になり、横船支部所属の
鹿島久岳先生の音頭により富士山を
合吟、私も参加させて頂いたました。
頑心会の皆杯のあたたかい御支援
のもとに上山口支部のますます発展
されますことを御祈りいたします。

初詣によせて

石井 庸山

霜おきし枯草小みて元朝の

初詣でする鎮守の宮居に

真夜中の星を仰ぎて神殿に

初吟会の吟友集いさし

奉納吟鎮守の森にこだまして

上山口支部のかたきちかひを